

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フェリッサエム			
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～	2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年3月3日		～	2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月2日		～	2025/2/25
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13	(回答数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が訪問支援員を担当することにより、専門的な視点から園での子どもの行動について分析することができる。また、現場の先生と専門職、それぞれの観察の視点を共有することで、より子どもの特性を具体的に把握することができる。	訪問先施設の教育方針や保育方針を尊重し、それぞれの施設に合わせた支援ができるよう取り組んでいる。 療育支援の質を高めるために、偏った支援とならないように、支援の知識の幅を広げる研鑽を行っている。	他事業所の訪問支援員とのネットワークを構築し、支援内容の充実につながるような情報を共有、吸収していきたい
2	同法人の児童発達支援を利用されている児童を対象としており、事業所内での利用者の様子を踏まえて、より利用者のことを把握した支援につながっている。 併設の児童発達支援事業所と合わせて、園との信頼関係が構築しやすい	併設の児童発達支援事業所との連携により、ケーススタディなどを行い、保護者ニーズに加えて児童の課題についての共有が図りやすい	園、家庭、事業所それぞれでの利用者の様子についてさらなる共有できる仕組みづくりを検討したい
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が1名のみの在籍となるため、利用者の急な欠席等で急な日程変更が必要になった際に、振り替えの日程調整ができない場合がある。	訪問支援日については予備日の日程調整まで行っていないため、急な日程変更が生じた際に対応できていない。 訪問支援員が併設の児童発達支援事業の業務フォローに入る際は、訪問支援員として実働することが難しい。	訪問支援の日程については、予備日を含めて日程調整を行い、急な日程変更にも対応できるようにしていく。
2			
3			